

Y3-9

マニュアルの徹底にロールプレイ研修を取り入れて－医薬品研修「麻薬管理」－

小川赤十字病院 医療安全推進室

○内野 善江、高橋 泰、木島 明美、金子 恵美

当院では、平成20年12月に今までの麻薬管理マニュアルを見直し改訂を行った。しかし、全ての職員がマニュアルを理解しているとは言えない。そこで、医療安全管理委員会が中心となり「麻薬管理運用マニュアル」を周知徹底する目的でロールプレイ研修を実施した結果、職員の理解が深まったので報告する。1) 研修内容 内服・外用・注射麻薬の一連の取扱い過程を、医療安全管理委員会のメンバーが、医師役、麻薬管理者役などに扮して、一連の流れをロールプレイして参加者に見せる。実際の麻薬処方箋、麻薬施用表などは、模造紙大の大きさに拡大コピーし、マジックペンを使用して記載の様子も見せた。参加者にはフローチャートを配布し、検証しながら見てもらった。その後、意見交換の時間を設けた。2) 研修結果 90名の参加があり、参加者の中には、「麻薬管理運用マニュアル」の存在を知らない者もあり、存在を知っているでもマニュアルを読んだことがない者もいた。しかし、研修に参加した者のほとんどが、「参考になった」と答えていた。研修会の満足度も「満足した」と答えている者が多かった。実際の流れをロールプレイしてもらうことで、実感がわきよく分かったとの意見が聞かれた。また、持参薬の麻薬を継続使用する際の薬袋は、色を変えてはどうかなどの意見が出され、新たな検討課題も発見できた。3) まとめ 今回のロールプレイ研修は、マニュアルの理解に効果的であった。また、参加者全員で、同じものを見ることにより、マニュアルの文字だけではわからない部分の問題点に気づくことができた。

Y3-10

パースィ看護理論を活用した医療安全教育

岡山赤十字看護専門学校

○村上 礼子、行光 美音子、氏平 美智子

【目的】看護学校入学直後の一年生にローズマリー・リゾ・パースィの人間生成理論（以下パースィ理論）を活用して医療安全教育を実施し、その効果を分析する。

【方法】1. 対象：1年生45名 2. 研究期間：平成19年6月～21年3月 3. データ収集：看護学概論の講義でパースィ理論を活用した医療安全についての演習（3人1組となりインタビュー形式で、インタビューを受ける人、インタビュアー、観察者＜記録者＞を順に15分間体験）を実施し、振り返りを各自で記録したもの 4. 分析方法：体験の振り返りから学びを抽出し、カテゴリーに分類し、分析する。5. 倫理的配慮：研究の主旨を口頭で説明し、協力の得られた学生とする。協力の有無によって不利益が生じないことや個人が特定できないように倫理的配慮を行う。研究結果は公表することをあらかじめ説明し、了解を得る。

【結果・考察】医療事故に関して心に残っていることの「過去」に関して記述した内容は、1.与薬ミス20件 2.手術ミス5件等であった。「過去」に関する医療事故の内容は、与薬ミスの記述が圧倒的に多かった。授業等で考える医療事故に関する認識「現在」の記述内容は、1.コミュニケーション不足5件 2.知識不足・管理不足・連携の不十分各3件であった。「現在」を記述したものを整理した結果、学生は医療事故の原因を言語化することができていた。医療事故を予防するための将来に対しての考え方「未来」は、1.確認11件 2.責任8件 3.連携6件であった。その他、コミュニケーション・人員確保・制度の整備等があがっていた。「過去」から「現在」そして「未来」に対しての考えを、人間生成理論を活用した医療安全の演習をすることは、医療事故の原因そして予防策と考えを創造することができた。